

SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY



広報 芝浦

Summer

2018.8



特集1 躍動する学生たち

特集2 学生プロジェクト

2017年度学生プロジェクト最優秀団体紹介&
2018年度学生プロジェクト採択団体紹介

特集3 留学生's LIFE in Shibaura

芝浦工業大学の留学生の日常

いつも学生でにぎわう大宮キャンパスの
朝の静かな時間(2号館)





広報 芝浦

index

表紙の写真
2017年度 学生プロジェクト 最優秀団体
「よねさきの丘プロジェクト」の製作風景

- 04 特集 1
躍動する学生たち

- 08 特集 2
学生プロジェクト
2017年度学生プロジェクト最優秀団体紹介&
2018年度学生プロジェクト採択団体紹介

- 12 特集 3
留学生's LIFE in Shibaura
芝浦工業大学の留学生の日常

- 16 研究室紹介 Professors.
伊東 敏夫 教授 システム理工学部 機械制御システム学科

- 18 INNOVATION 最前線

- 20 卒業生紹介 しばうら人
田上 舞子さん

- 22 SITニュース

- 28 CONGRATULATIONS 受賞レポート

- 30 寄付者情報



週6日登校しながら「真剣に、楽しく、バスケをしたい」

将来は先生になることを考えていて、教職をとっています。数学に加えて今年から情報の教職授業もとり始めました。一週間介護等体験に行った時は、部活の状況が心配で終わってすぐ練習に向かうなどとても多忙に。女子バスケ部はマネージャーがいなく主将と主務を兼ねているので、手続きなど大変なこともあります。同期や後輩に任せられることは任せてみようと思っています。部員みんなの思いを聞きながら、1年生が入ってくれたことに対して責任を持って活動していきたいです。

まずはリーグ戦勝利を目指して

中高とバスケ部で、混合ではなく女子で試合がしたかったので体育会女子バスケ部に入りました。去年までは体育館の使用時間と必修授業の兼ね合いで人数が集まらなかったこともあったのですが、自分が主将となってからはもっとしっかり部活動をしたと思い、男子バスケ部が予約している時間にも願って練習場所を借りたり、授業があまり無い土曜日にも練習ができる日を作ったりしました。9月のリーグ戦では、初戦で絶対に勝ちたいです！



学業に勤しむ多浦工業大学の学生。その中でも7割の学生が課外活動に参加していると言われており、学内・学外を問わず多様な活動に取り組んでいます。今回学業と両立しながらさまざまなステージで活躍する学生の皆さんを紹介します。

唯一の体育会

“女子”バスケットボール部で

主将を務める

システム理工学部 数理科学科 3年

寺門 愛さん

夏休みの予定は？

中高とずっと部活漬けだった影響で大学では海外に飛び出したい欲が高まり、毎年アルバイト代でグローバルPBLや短期プログラムに参加していました。今年はドイツで数学を学ぶ予定です。

女子バスケ

体育会



「基礎スキー」で

全日本大会個人出場を目指す!

年間100日雪山で過ごす

理工学研究科 機械工学専攻 1年

服部 義典さん



基礎スキー

世界を舞台に

スキーの魅力にとりつかれ

タイムを競うのではなく、ターンやコブ斜面など規定の演目について採点をされる「基礎スキー」。同じ場所で滑っても、絶対に同じ結果が得られない点に魅了され、年間100日を雪山で過ごしています。学部1年次にはインストラクターの資格を取得。4年次では、合格率数%と言われるスキー検定最高峰の「クラウンプライズ」に合格しました。スキー界は狭く、世界クラスの選手との距離が近いです。第一線で活躍している選手のストイックな姿勢を見ていると、スポーツ以外の勉強の面でも見習いたいと大変刺激になります。

研究室では伝熱工学を勉強しており、高効率の沸騰冷却技術開発を目指しています。冬には雪山に行ってしまうため、研究室のメンバーには理解してもらい本当に感謝しています。夏の間に前倒して研究を進めておくなど、協力しあってスケジュールをこなしています。

大宮から1時間で雪国に行くことができるので、もっと多くの皆さんにスキーやスノーボードを楽しんでもらいたいです。平日の朝一は、軽く積もったパウダースノーを初心者でも楽しめますよ!



夏休みの予定は?

2週間の企業インターンシップに行きます。それ以外の期間はスキースクールでオフトレーニングを企画したり、スキーヤーつながりで農業を手伝いに行ったりしたいと考えています。

「何でもやってみる」を モットーに

国際ボランティアや海外インターンシップ、演劇のお手伝いなどで世界12カ国に行きました。将来は世界を舞台とした仕事をしたいです。海外ではオンオフをしっかりと分けて働いていて、研究とスキーの両立ができるのではないかと刺激になりました。来年は南ドイツなどに半年研究留学へ行きながら大会出場を目指したいと考えています。



インターンシップで イベントの企画から 運営まで担当

システム理工学部
電子情報システム学科国際コース 2年

田島 麻衣さん



ダイバーシティ

インターンシップ

Global Summit of Women 2018 シドニー大会を共有

世界の経済界や政界の女性リーダーが集う「世界女性サミット (Global Summit of Women) 2018」に参加し、その報告共有会イベントをインターン生として企画から運営まで担当しました。去年、「ダイバーシティ入門」という授業を履修して、ダイバーシティ、特に女性の問題を身近に感じたことがきっかけです。

イベントの企画というと当日だけの活動かと思っていたのですが、登壇者への事前連絡など、授業の空き時間を利用して1ヶ月以上取り組んでいました。アルバイトも休む必要があり大変でしたが、参加者に「参加して良かった」と言ってもらえてうれしかったです。人と話すことが好きなので、将来は人と積極的に関わり、提案したり仲介したりするような仕事に就きたいと考えています。



夏休みの予定は？

インターンの活動を継続しながら、ベトナムの短期留学に参加予定です。日本のことももっと知りたいと思うようになり、1週間の国内旅行を予定しています。

ダイバーシティを理解する

「世界女性サミット2018」では、女性がどうやったらリーダーになれるか、どうしたらビジネスで成功するのかなど、さまざまな登壇者の話を伺いました。中には文化・考え方の違いに驚くことも。違いがあったときに、「受け入れる」のではなく「認める」ことが大事だと思っています。

やりがいと責任と

高校生までの学生生活で部活動を行ってこなかったで、自分を変えるきっかけになるかと思い入試課学生スタッフに入りました。進学説明会で現役高校生から相談を受けたり、オープンキャンパスではリーダーとして各スタッフのセッション配置や指揮をしたりしました。入試課学生スタッフは大学の「顔」として活動しているので、社会に出て必要となる責任感が身に付いたと感じています。



視野を広げて

大抵の高校生はまだ何がやりたいのか決まっていないので、なるべく将来の視野が広がるようにアドバイスすることを意識しています。とても重要な時期なので責任を持って務めています。将来は建築だけに限らず人に喜びを与えられることをしていきたいと考えています。

入試課スタッフで 大学の「顔」として働く

工学部
建築学科4年
小川 恭平さん



入試課スタッフ

責任感

夏休みの予定は？

その土地での気候、風土で培われてきたヴァナキュラー建築、都市部におけるヴァナキュラー性とは何かを研究しているので、いろいろな土地を旅行し、多くの建築を実際に見て体験したいと思っています。

#無線部

#PA

工学部 電気工学科3年
小坂 航太郎さん

水平線の向こう側の 相手と話せる無線技術の魅力

アマチュア無線に熱中

中学生の時にアマチュア無線の免許を取り、老若男女・全国のさまざまな人と話していました。PA 機材に憧れがあって大学でも無線部に。アマチュア無線を行うHAM班、軽音楽部などから依頼を受けたライブの音響を担当するオーディオ班、コンピュータ班の3班に分かれ、好きな活動に自由に参加しています。部長になる前はオーディオ班に所属。電波を利用して、たとえば北海道から、沖縄の波照間島まで、見知らぬ人と話せるのがアマチュア無線の魅力だと思っています。



技術を磨く

3年生になって、特に実験の授業の難易度が上がりました。授業後は、実験データをまとめるほか、英語の授業でのプレゼンやポスターセッションの準備をしています。豊洲キャンパスに通うようになり、以前ほどは大宮キャンパスの部活に通えなくなってしまったのですが、2週間に1度のミーティングには必ず参加して機材の確認などを行っています。機材を調整していると、ユーザ目線に立ったものづくりの重要性を感じます。将来は技術者、特にロボットに関わる仕事に就きたいと考えています。

夏休みの予定は？

企業のインターンなどに参加して見聞を深めるつもりです。

留学生とのランチ会を企画

毎週金曜日に、豊洲のグローバルラーニングcommons (GLC) で留学生と日本人学生の交流の場として「Toyosu de Lunch」というランチ会を開催しています。今、キャンパスで見かける留



学生の数や友人のPBL・留学経験率などから、芝浦工業大学のグローバル化を肌で感じています。1、2年生向けのイベントは多い反面、上級生向けの気軽な豊洲キャンパスでのアクティビティは少ないのではと思い、4月から始めました。

国際化とは他者を理解すること

旅行が趣味で異文化を知ることに関心があり、一人でバックパックの旅にも出ていました。研究室では地域デザインを勉強しています。将来的には日本の国際化や海外でコミュニティの研究をしてみたいとも考えています。国際交流とは、他者理解の一つで、対象が世界になっただけ。相手の文化を思いやるという考え方を、将来にもつなげていきたいです。

学生という立場から 大学のグローバル化を 促進したい

工学部 建築学科4年
鈴木 はるかさん

#グローバル

#Toyosu de Lunch

夏休みの予定は？

入学式の時にさまざまなプログラムや奨学金の話聞いて、4年間を専門の勉強だけで終わらせたらもったいないと思い短期留学やPBLに参加してきました。今後も国内外のプログラムに積極的に参加したいです。

≪ 2017年度学生プロジェクト最優秀プロジェクト ≫

「よねさきの丘PROJECT」

1年間の活動

5月20日、大宮キャンパスで行われた大宮祭にて2017年度学生プロジェクト活動報告会が開かれ、最優秀プロジェクトには「よねさきの丘PROJECT」が、優秀プロジェクトに「笑顔のまちなこそ復興プロジェクト」、「ものづくり×クリエイティブ×アート『Shiba Lab』」が選ばれました。

最優秀プロジェクト「よねさきの丘PROJECT」は、岩手県陸前高田市出身の学生を代表として、米崎地区の復興事業に取り組んでいます。防災意識の向上や地域コミュニティを形成することを目的とする東屋(あずまや)の建設を設計から施工まで行っており、2018年4月に完成しました。



活動開始

8月

6月

ワークショップを実施



2017年 6月 / 7月

東屋を建設する丘陵地へのアクセス用道路の整備のため、伐採を行いました。NPO法人再生の里ヤルキタウンより工具使用の講習を受け、車両系建設機械の資格を取得している学生が重機を動かして作業を実施。伐採した木材は皮を剥ぎ乾燥させました。

8月

木を切った後の場所は重機が通れるようになりました。また並行して東屋の基礎のため採掘や丁張を行いました。ものづくりの楽しさを学んでもらうこと、プロジェクトの活動を認知してもらうことを目的に、地域の夏祭り「ダ・ヴィンチブリッジと呼ばれる3分程度で組み上がる構造物を組み立ててもらおうワークショップも実施しました。

学生プロジェクトとは

既存のクラブ・サークルや研究室以外の枠組みのグループで新しいチームを結成し、目的達成のために学生が自主的に企画・立案し、自らの力で活動を行う、芝浦工業大学独自のプロジェクト活動です。プロジェクトが採択されると、1団体につき年間50万円を上限に活動資金が援助されます。学生たちにとって学生プロジェクトの活動は、行動によって構想を実現する力やプロジェクトをマネジメントする力などを身につける実践的な学びの場となっています。

「よねさきの丘 PROJECT」代表

紺野 雄輔さん（建設工学専攻2年）



陸前高田市に海と向き合える場所を設計・施工する活動の中で、意匠の学生だけでなく構造や施工を専攻する学生や、現地の方々などさまざまな人と協力し、完成に至ったことで、多くの気づきを得ることができました。また、代表である自分一人ではプロジェクト創設や資金集め、WSなどのこれまでの活動は到底できず、仲間と協力することの大切さを知り、同時に代表としての責任を実感しました。



毎日が
工期との勝負

4月

3月

10月

完成!



4月
立ち上がった躯体に「屋根」を架けました。柱間ごとに分けられた網状のものをつづつ手作業で取り付けました。併せて、椅子の設置や周辺の整備を行いました。

2018年 3月
木材の磨き、柱脚部分の単管切り出し組み立てを行いました。柱の位置の測量と基礎のための穴の掘削を主に行いました。使用する木材はやすりがけをして防腐剤を塗ります。柱頭／柱脚の準備、根巻きを終え、計画地の側まで運搬した後は掘削した穴に入れてアンカーと接続を行いました。



10月／11月
柱の足元の検討を現場で行いました。既製品のコンクリート束石を用いて、木の端部を加工してみました。加工の手間と精度の問題などを確認することが出来ました。模型、図面などを作成しながら設計を詰めています。

2018年度 学生プロジェクトには13団体が採択されました。大学ブランド力の向上を図る「①大学チェンジ部門」、地域の活性化を図る「②社会貢献部門」、グローバルな視野を持った活動の「③グローバル部門」、上記3部門に該当しない自由でユニークな活動の「④自由部門」と4つの部門を設定し、活動の目的・成果を明確にしています。 ※2018年度は④自由部門は該当なし

特集2 | 学生プロジェクト
2018年度
学生プロジェクト
採択団体概要

大学チェンジ部門

Shibaura Overseas Supporters Project

留学経験者で構成されたメンバーにより長期留学・短期留学希望者のサポートと促進を行う。相談会・座談会の実施、留学経験者の体験談をまとめた冊子を作成する。

GOTTEN

芝浦工業大学の認知度向上と学生生活の快適化を目指す。大学公認のスクールウェアの販売、生協の混雑緩和対策、大学の学年暦と連動したアプリの開発を行う。

ものづくり×クリエイティブ×アート 「ShibauraLab」

ものづくり、創造性の高いアートをテーマに「インタラクティブアート」の制作と発信をする。子供向けIT学習支援イベントの主催や企業との共同プロジェクトなど、ものづくりを幅広く発信する。

社会貢献部門

来間(くりま)島地域活性化プロジェクト

沖縄県宮古島市来間島における、在来の居住文化を利用した地域の活性化プロジェクト。行政、地域のNPOや地域住民と連携し、島の伝統文化を使用したワークショップを行う。

まちのえんがわプロジェクト

地域住民と学生の交流拠点となる「縁側」空間をつくる。千葉県松戸市にある空きアパートに地域住民のための「縁側」を施工し、地域交流イベントを開催する。

すみだの'巣'づくりプロジェクト

東京都墨田区の防災を意識したまちづくり活動を行う。活動3年目となる今年は、これまでのつながりから多彩なネットワークを構築し、防災を含めたまちづくりを持続可能なものとする。

空き家改修プロジェクト

空き家を改修して地域の活性化を目指す。大学で学んだ技術力を活かし、静岡県東伊豆町の東海汽船事務所をものづくりスペースに改修して地域住民に開放していく。

笑顔のまち なこそ復興プロジェクト

東日本大震災で被災した福島県いわき市勿来(なこそ)地区の復興に向けて活動する。交流イベントの開催などを通して、復興のソフト面である人と人のつながりを生み出す。

月島かるたを作ろう

東京都中央区月島において、周辺地域の子供たちにまちの魅力、歴史や文化を伝える。子供たちとまち歩きをしてまち中で撮影した写真でかるたを作成。かるた大会を開催する。

東大宮キャンパスタウン化プロジェクト

大宮キャンパスのブランド力向上と東大宮地域の活性化を目指して地域連携活動をする。地域企業との共同活動や、地元小学生を対象にセミナーを開催する。

南房総富浦再生プロジェクト

千葉県南房総市富浦地区を住みよいまちにする。ボランティア活動やワークショップを通して地域交流を深め、まちの魅力を発信することで人口減少が続く同地区の再生を目指す。

グローバル部門

NEXUS

留学生が課外活動に参加できる仕組みをつくり、国際交流活動を全学に広める。英語版クラブ活動紹介冊子の作成や、クラブ活動・学内施設紹介動画を制作する。

Global Dormitory Project

国際学生寮を中心に学生と留学生がお互いの文化や伝統を気軽に楽しんで知ることができるイベントを企画、実施する。各国の料理体験、茶道や和菓子作り体験を行う。

\\ 採択された団体は、2018年6月より早速活動を開始しています。 //

空き家改修プロジェクト

6月8日～10日



東伊豆のチケット売り場を改修中

2泊3日で施工を実施しました。インテリアについて模型を使って検討したり、壁や天井の塗装をしたりと盛り沢山の内容に。さらに、キンメマラソンという地域のイベントに参加して、稲取の多くの方々と関わることができました。今後夏休みに向けて家具や洗い場の製作を進めると共に、地域の子ども向けのワークショップを開く予定です。



6月29日

防災ふろしき製品化& 防災意識啓発のための特別授業開催

防災の知識を子どもの頃から定着させたい。その思いに共感した東京都墨田区立 第一寺島小学校 近藤 幸弘校長の協力の元、同校で特別授業を開催しました。約60人の児童が晴天の下、元気な声を上げながら避難経路、避難場所などが記載されている「防災観光ふろしき」で水をくんでリレーを行いました。リレーの間には、防災関連のクイズで得点を競うゲーム感覚を取り入れ、子どもたちに防災に関する正しい知識を楽しく知ってもらう機会にもなりました。



代表の渡部雄貴さん(環境システム学科3年)
「イベントという形にできた経験を元に、これからもふろしきを使った活動を継続的に行っていきたい」

まちのえんがわプロジェクト

7月8日



松戸市のアパート空室に 交流を創出する「縁側」を施工

千葉県松戸市のワンルームアパート1階の空室の庭に、地域の交流を目的とした「縁側」を設計・施工しました。地元の工務店から提供された廃材を使用して製作された「縁側」は、パズルのような7つの製作物ピースで構成されており、用途や場所に合わせて組み替えたり自由に組み替えたりできるので、河原や公園へ持ち運び人の居場所を作ることが可能です。

代表の関根康介さん(建築工学科4年)

「雑草ばかりだった庭が、『縁側』の設置によって多くの人が訪れて会話を楽しむ空間に変化したことをとても嬉しく思いました。2ヶ月間松戸市に住んでみて、綺麗な風情のある川や林など、あまり知られていないけどとても良い場所を発見できました。これからもパブリックスペースを製作して製作物を使ってまちににぎわいを生み出していく活動を続けていきたい」

留学生's LIFE

in Shibaura

芝浦工業大学の留学生の日常

情報工学科で主にプログラミングや数学を学ぶジャートルム ナルモンさん。
国際学生寮に住み、授業や部活など
毎日忙しい日々を送っています。留学生の生活を聞いてみました。



ジャートルム ナルモンさん



工学部 情報工学科 2年
タイ | プリーラム県出身

Q. 日本に興味を持ったきっかけは？

高校1年生の時にガールスカウトのキャンプが日本であり、タイの代表として日本に来たことです。その時から日本に興味を持ち、奨学金を得て芝浦工業大学に入学しました。

Q. 国際学生寮の良いところは？

正直、こんなキレイな寮に住めてすごくラッキーだと思っています。プライベートな部屋も好きですが、寂しがり屋なので(笑)、寮生と共有で利用するスペースもあるところが気に入っています。寂しくないし、共同で生活している感じが楽しいです。

Q. 寮の人たちとはどのような交流をしていますか？

友人や先輩から勉強を教えてもらったり、いろいろな相談にも乗ってもらうこともあります。夕飯時には一緒にご飯を作ったりもできて一人暮らしでは経験できないことが多くあります。



Q. 日本の好きなところは？

日本食や春夏秋冬があるところ。春は花見、夏は花火、秋は紅葉、冬はイルミネーションなど、四季のイベントが豊富で日本をいろいろな場所で感じるができますね。

Q. 日本語はどのように習得しましたか？

最初はまったく日本語はしゃべれなかったんです。ただどうして日本に留学したかったのか、高校卒業後にタイで半年間日本語の勉強を行い、来日後も1年半日本語学校に入り猛勉強。今ではひらがな、カタカナだけでなく漢字も不自由なく書け、会話もすべて日本語でこなすことができます。

Q. 部活動には参加していますか？

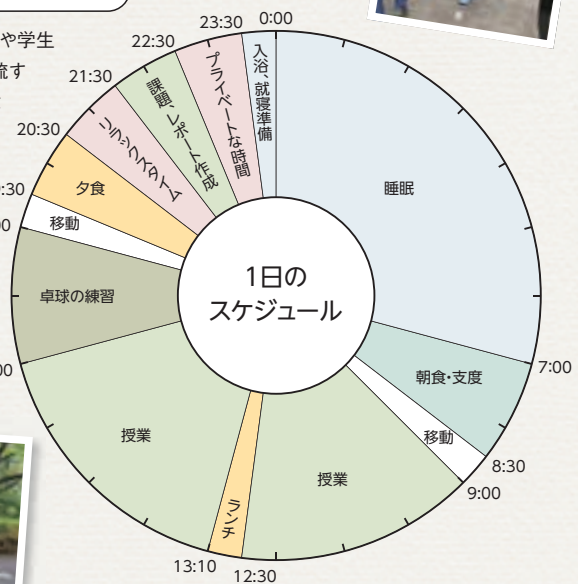
卓球部に所属し、練習試合や学生リーグで他大学の学生と交流することもあります。他にも、大宮祭実行委員、国際交流サークルSISAのメンバーとしても活動していて、日本人学生も留学生も一緒にイベントを盛り上げています。

大宮キャンパス
図書館前は
木々が生い茂りタイを
思い出します




Q. 休日の過ごし方は？

授業の課題と、卓球の練習をしています。ほとんど卓球に費やしていますが…(笑)練習がない日曜日にはタイフェスティバルや、フラワーパークに行き、夏は浴衣でイベントに出かけることもあります。長期休暇のときは、寮のタイ人同士で計画を立てて旅行に行くこともあります。



ブラジル サンパウロ出身のエドアルド グエンカさん。曾祖父が日本人という縁もあり、
 Instituto Mauá de Tecnologia (マウア工科大学) 3年生の時に初来日しました。
 ホームシックにかかることもあるそうですが、大好きな日本そして芝浦工業大学での暮らしを聞いてみました。



エドアルド グエンカさん 

| | | |
|------|---------|----|
| 工学部 | 土木工学科 | 3年 |
| ブラジル | サンパウロ出身 | |

Q. アルバイトはしていますか？

六本木の飲食店で調理スタッフとして週に4日働いています。スタッフやお客さんも外国人が多いので楽しいです。



Q. 一番好きな日本語は？

大丈夫。何を聞かれても「大丈夫」と答えれば通用するので(笑)とても便利な言葉だと思います。

Q. 日本食は好きですか？

大好きです！ブラジルでは日本人は寿司しか食べないと言われていたので現実との違いに驚きました(笑)。週に何回も食べるほどトンカツが好きです。納豆は試してみましたがいまだに食べられません。

Q. 日本で旅行に行きましたか？

冬に北海道の雪祭りに行き、関西地区、長野、福島、静岡、神奈川、そして沖縄には2回も行きました。沖縄は自分の家族のルートの一部でもあるので、家族と一緒に街の雰囲気を楽しみました。

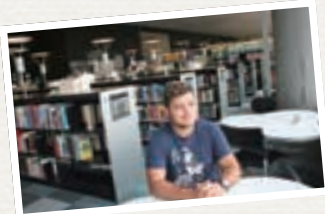


Q. 日本で一番驚いた事は？

一番驚いた事は地下鉄網ですね。どこにでも簡単にいけるし、キレイで整備されています。あと日本はとても安全なことにも驚いています。電車の中で寝ていても誰も財布や携帯を取らないですよね？ 実際、財布を落とした事があるのですが落とした場所に戻ったら見つかりました。サンパウロでは絶対にあり得ないことです。

Q. 豊洲キャンパスで好きな場所は？

図書館が一番好きです。よく勉強に行きます。



Q. どのような授業を取っていますか？

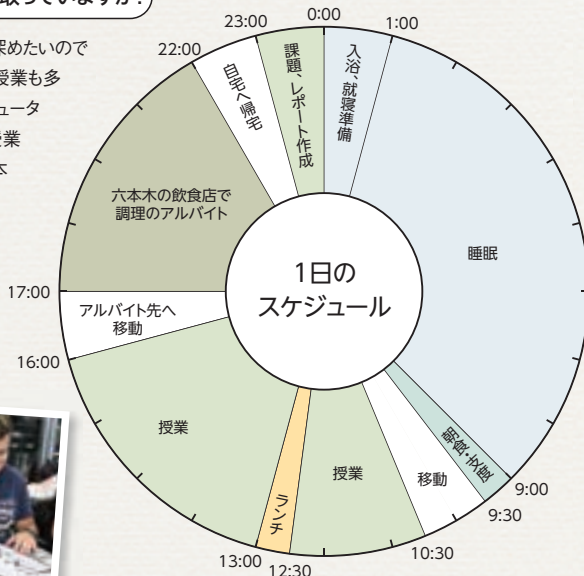
いろいろな分野の知識を深めたいので専攻の土木工学以外の授業も多く履修しています。コンピュータ関連、交通網に関する授業などが印象的です。日本語授業にも参加してみましたが、中級レベルは難しくすぎて諦めました…。

書道イベントにも参加



Q. なぜ芝浦工業大学を選んだのですか？

大学に入った時点で留学はしたいと思っていました。母校には、ヨーロッパ、アメリカ、カナダなどいろいろなプログラムがありましたが、アジアで学びたいと思ったんです。というのも、曾祖父が沖縄出身でブラジルに移り住んだので、家族のルーツを学ぶのに絶好の機会だと思い芝浦を選びました。



留学生に聞いてみました

アンケート結果

回答者 102人 (男75人、女25人、未回答2人)

出身地域

| アジア | アフリカ | 欧州 | 中南米 | 北米 | 総計 |
|-----|------|----|-----|----|-----|
| 85 | 7 | 3 | 5 | 2 | 102 |

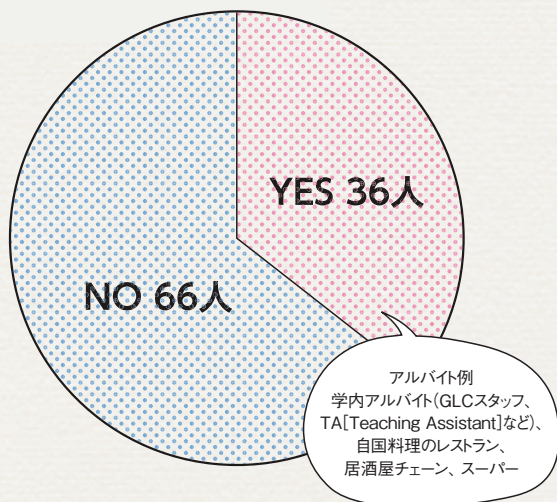
留学形態

| | |
|-------------|-----|
| 正規留学生 (学部) | 45 |
| 正規留学生 (大学院) | 32 |
| 短期留学生 | 23 |
| 研究生 | 1 |
| その他 | 1 |
| 総計 | 102 |

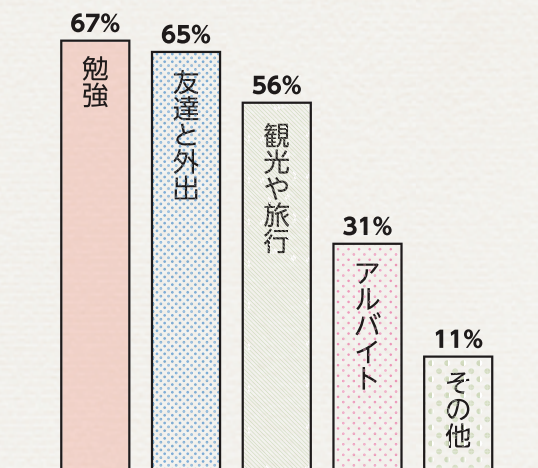
居住形態

| 住居 | 男 | 女 | 性別未回答 | 総計 |
|--------|----|----|-------|-----|
| 賃貸物件 | 49 | 22 | 1 | 72 |
| シェアハウス | 9 | 2 | 1 | 12 |
| 国際学生寮 | 12 | 1 | 0 | 13 |
| ゲストハウス | 1 | 0 | 0 | 1 |
| その他 | 4 | 0 | 0 | 4 |
| 総計 | 75 | 25 | 2 | 102 |

Q. アルバイトをしていますか?



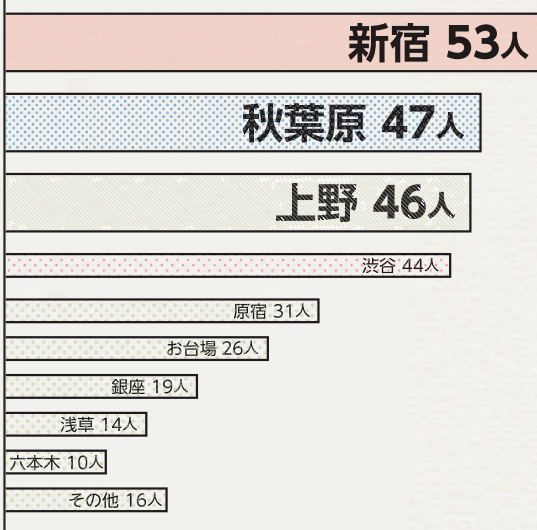
Q. 休日の過ごし方 (複数回答可能)



Q. 芝浦工業大学のイメージ

- グローバル
- さまざまな国の留学生が多い
- 国際部の職員がフレンドリーにサポートしてくれる
- 英語で受講できる授業が多い
- 就職に強い
- 学生が優しい、真面目
- 専門分野の授業と研究機器が良い
- 授業だけでなく異文化交流の機会を積極的に与えてくれる
- 豊洲キャンパスの建物のデザインが現代的
- 大宮キャンパスは緑豊か (少し田舎っぽい)
- 男性が多い
- 中国での認知度が低いが良い大学
- 授業が厳しい

Q. 都内でよく行く場所（複数回答可能）



Q. 日本に来て困ったこと（複数回答可能）

- 1位 日本語の敬語やマナーが難しい
- 2位 日本人は英語が話せない
- 3位 家を借りるのが大変

4位 食べ物のサイズが小さい 5位 英語の授業が少ない 6位 Wi-Fiが少ない 7位 電車が複雑すぎる 8位 英語表記が少ない 9位 ATMが不便 10位クレジットカードが使える店が少ない

その他意見

日本人は授業中フレンドリーなのに、外でフレンドリーでない／公共の場での祈祷室がとて少ない／賃貸、携帯電話、インターネットなどが1年程度の契約でも煩雑／地方に行った時、車内のLEDパネルが無く英語表記が無かったり、アナウンスも日本語だけで訛りがあって聞き取れない。Google Mapが無いと迷子になってしまう。

Q. 芝浦工業大学に留学を決めた理由

- 1位 研究 自分の研究分野を勉強できるから
- 2位 東京 東京にキャンパスがあるから
- 3位 教員 専門分野が豊富な教員が多くいるから

4位 グローバル SGU、グローバルに力を入れているから、英語で受講できる

5位 研究機器 研究機器が揃っていたから

6位 母校 自分の所属大学からSITを推奨されたから

7位 建物 キャンパスがきれいだったから

8位 PBL SITとgPBLなどで交流したことがあるから

Q. 好きな日本食（複数回答可能）

- 1位 ラーメン
- 2位 寿司
- 3位 焼肉

4位 唐揚げ 5位 天ぷら 6位 刺し身、カレーライス
7位 うどん 8位 お好み焼き 9位 とんかつ 10位 そば

その他意見

メロンパン／おにぎり／餃子／たこ焼き／茶碗蒸し／味噌汁

Q. 日本に来て驚いたこと（複数回答可能）

- 1位 街がきれい
- 2位 電車が時間通りに来る
- 3位 自動販売機が多い

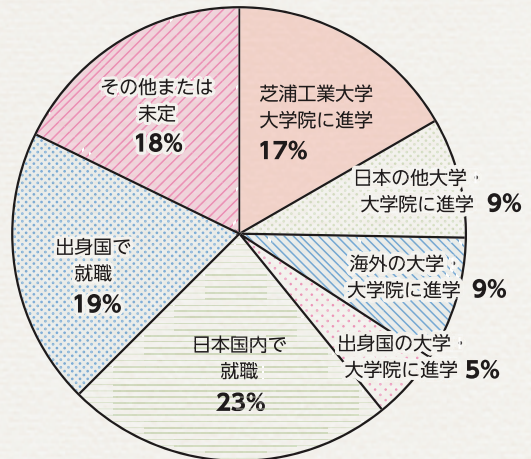
4位 お店の店員の礼儀正しさ 5位 トイレのウォシュレット

6位 食べ物がおいしい

その他意見

駅の職員の方が最終電車の出発前に乗り遅れの乗客を確認していた／日本の広告／甘い物好きの人が多く／果物が高い／大学の課題が多い

Q. 卒業後の進路の予定



Q. 日本人に思うこと

英語（会話力、街中の看板）（外国人と英語で話すことに恥ずかしがらなくて良い、日本人はとてもシャイ）／多くの日本人の友達を見て感じるのだが、テストで良い点を取るための勉強に注力しており、何かを調べるための勉強や思考方法が物足りない／他国と比べて愛国心が薄いと感じる／自発性、積極性、見ず知らずの人にも心を開いて欲しい／すぐに謝る／日本人はいつも無表情。もっと笑顔を見せて欲しい／もっと素直になって欲しい



自動車運転技術の 未来を切り拓く

現在、自動車業界には「100年に1度の大変革」が来ていると言われ、IT技術の発展や生活様式の変化によって新技術が次々に登場している。その中でも、さまざまな用途が期待される自動運転技術、身の回りに溢れるビッグデータの活用、モビリティの電動化といった分野は世界中で注目されてる。伊東教授が目指す、自動運転技術の可能性とは。



Profile ▶▶▶

Toshio Ito

伊東 敏夫 教授

システム理工学部 機械制御システム学科
運転支援システム研究室

神戸大学工学部システム工学科を卒業し、ダイハツ工業(株)に入社。以来、カーエレクトロニクスの研究開発に従事し、各種運転支援システムを開発。社外活動としてISO/TC204/WG14(走行制御システム)の日本代表を15年間担当。2013年、ダイハツ工業(株)を定年退職し、芝浦工業大学に着任、運転支援システム研究室を開設し現在に至る。

学生時代から、二輪、四輪問わず自動車が好きで工学の道へ。研究には、誰にも気づかれずに、見つからずに残っているものは意外と沢山あります。それらを見逃さない細かい地道な研究を行うために「キノコは千人の股をくぐる」を信条としています。研究室では、毎週土曜日に研究室全員の研究の進捗状況の発表を行い、メンバー全員がそれぞれの研究内容を把握できるようにしています。

複数の研究室と二人三脚で 2020年の完成を目指す

人間は無意識に行動します。同様にドライバーも無意識に運転行動を変化させます。当研究室は人間のこの心理特性に着目し、無意識下におけるドライバーの生体反応と運転行動を研究しています。また、ドライブレコーダーやバックカメラの普及により、車にカメラが当たり前に装着される時代となりました。これらのカメラの画像を処理し、車に視覚機能を付加させる技術や、自動車の自律自動運転の基礎研究として、自律移動可能なマイクロモビリティの開発に取り組んでいます。この技術は、ハードウェアの変

更などが無用で後付けで搭載することが可能です。今後は、自動運転ドローンや自律移動ロボットの外界センサーへの使用も期待されます。これらの技術を、街中でも見かけることが多くなってきたシニアカーに後付けで、自律移動モビリティにする装置として搭載することを構想しています。これは、複数の研究室との共同プロジェクトとして2020年の完成を目標に開発を進めています。

ザリガニの水流を感知する能力から、 遠距離の物体認識を可能に

自動車は便利な反面、渋滞での無駄な燃料消費や運転の負荷、そして交通事故というマイナスの側面を持っています。当研究室では、運転時の人間の各種特性を解析して、最適な支援とは何かを探索し、運転をより効率的に、快適に、安全に変えることを目指しています。

最近、米国のGoogle社が開発した自動運転車が話題となっています。安全な自動運転技術を確認するにあたり、求められる4つのポイントがあります。

1つめは、次の交差点までの距離を正確に計算するため、自車がどの位置にいるのか把握する「自己位置推定」。2つめは、センサー類を複合的に活用し周りの環境を認識する「外界認識」。3つめは、自車の位置と向き、速度などその他の要素から総合的に判断して行う「行動計画」。4つめは、ステアリングやブレーキの操作を行う「車両制御」です。

最近では、「外界認識」に関する技術開発を行いました。自動運転では、周辺物体を認識することにより安全な走行が可能となります。自

研究内容



①システムが環境変化に対応できない場合は自動運転継続困難となるため、ドライバーが運転操作を引き継ぐことになる。突発的な運転要求に対してドライバーはどう対応するのか、安全な引き継ぎに何が必要かを検証している。



②街中で見かけることも多くなってきたシニアカー。「自動運転セットボックス」は、シニアカーを後付けで自律移動モビリティにする装置として構想している。現在、複数の研究室との共同プロジェクトとして2020年の完成を目標に開発を進めている。



研究室では、運転中のドライバーの生体情報解析、自動運転車向けの運転支援システム開発、機械学習を用いた物体認識、高齢者向けモビリティであるシニアカーの自動運転化に向けた自動運転セットボックスの開発などを扱っている。

完全自動化された車の実現へ

確率共鳴の応用に着目すると、「LIDAR以外の画像処理やレーダー」への応用展開することも可能と思われます。

社会実装については、今後の研究の進行次第になりますが、将来的には、「LIDAR」による認識技術を持つ企業との共同研究を進めていきたいと考えています。

自動運転技術の進歩は目覚ましいものがあります。自動運転と手動運転の切り替えなど、まだまだ多くの課題はありますが、いずれはその発展として、AI技術によって、ドライバーごとにカスタマイズできる完全自動化した車の誕生を目指していきたいです。

こういった、本来は自動車技術とは関連のなさそうなところから新技術への着想を得て実践していくことが、研究の面白いところでもあります。

自動運転技術で主に用いられている「LIDAR(light detection and ranging)」を使用した手法では、遠距離であるほど計測した点の分布率が低くなりクラスタリングが作成できませんでした。これに、ザリガニが外敵や水流の動きを感知する際に使用している、「確率共鳴」という現象を利用することを考えつきました。確率共鳴とは対象にノイズを加えることで信号の検知能力が向上する現象で、これを利用することで、「LIDAR」の遠距離認識性能の改良や遠距離での反射点群密度の向上が可能となり、計測地点から20メートル以上80メートル以内の歩行者、二輪車、車両に対して実験を行い、認識性能の改善がみられました。

STUDENT INTERVIEW

伊東先生について



研究に対してとても熱心な先生です。自動車が本当に好きなんだと常々感じています。毎週末に行う研究の進捗の報告会を行うことで、研究室の学生全員の研究を把握してくれています。

大学院理工学研究科修士課程 システム理工学専攻2年
中山 雄一郎さん

ゼミを選ぶときの研究室紹介で、自動運転に興味を持ち、伊東研究室に。主にシニアカー「自動運転セットボックス」、シニアカーに後付けで自律移動モビリティにする技術の研究に取り組んでいます。

伊東先生について



日々の研究に行き詰まったときには適切なアドバイスをくれます。学生に求めるレベルは高いですが、ゼミ合宿にお子さんを連れてくるなど、子供心な一面もある優しい先生です。

大学院理工学研究科修士課程 システム理工学専攻2年
阿部 晃大さん

大学に入る前から自動車に興味があり、特に自動運転について学びたいと思い、伊東先生の研究室を選びました。現在は、シミュレーターを使用し、ドライバーが自動運転時に居眠りをしないようにするための研究を行っています。

News

1

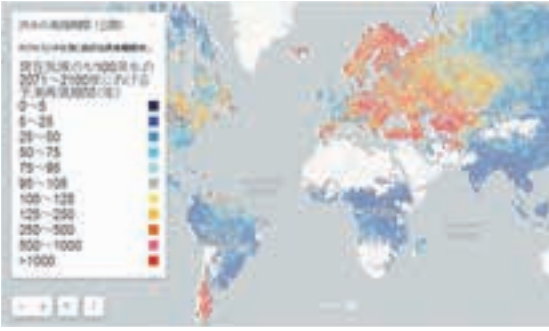
MS&AD、東京大学と、
気候変動研究プロジェクトを
開始

気候変動による洪水リスクへの影響をグローバルに評価



土木工学科
平林 由希子教授

平林由希子教授（土木工学科）は、MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社、MS&ADインターリス্ক総研株式会社と国立大学法人東京大学とともに、「気候変動による洪水リスクの大規模評価（ARCFloodTM）」プロジェクトを開始しました。



マップイメージ

近年、世界の平均地表気温は上昇しており、産業革命前と比較して1℃程度高いレベルに達しています。今後、気候変動がさらに進行することにより、世界的に洪水リスクが高まり、企業経営にも大きな影響を及ぼす可能性があります。そこで、上記の四者が共同で下記の取り組みを行います。

（１）「気候変動による洪水頻度変化予測マップ」の公開
気候変動リスクを把握するための参考情報として、Web-GIS（地理情報システム）で閲覧できるようにしました。

（２）洪水に対する温暖化の影響の定量的評価研究
気候変動と洪水リスクの関係を明らかにすることを目的とし、アジアの大河川を対象に、過去の洪水の発生確率に関する温暖化の影響を広域かつ定量的に評価します。

News

2

車々間通信を用いて
リアルタイムな
渋滞解消支援手法を提案

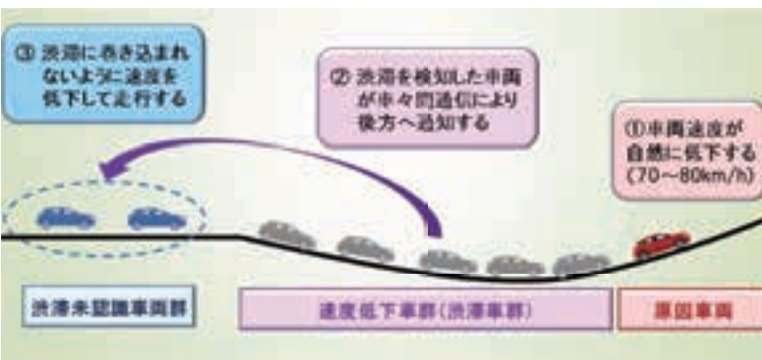
4割の車両が導入で渋滞所要時間が10%減少



情報通信工学科
森野 博章准教授

森野博章准教授（情報通信工学科）は、アナログテレビで使用されていた700MHz帯の周波数を用いた車々間通信による自然渋滞解消支援手法を提案し、サブ部（緩やかな下り坂のあとに緩やかな上り坂が続く、自然渋滞頻発箇所）での平均走行速度が約10%向上することを明らかにしました。

渋滞を早期解消するアプローチとして、「渋滞吸収運転」と呼ばれる、後続車両が速度を落とすとして渋滞車群への到着を遅らせる方法が盛んに議論されてきました。そのためには渋滞を検出してリアルタイムにドライバーへ適切な速度制限を促すことが重要です。そこで森野准教授の研究では、700MHz帯の周波数を利用した通信距離が最大1000m程度の車々間通信により車両間で情報交換を行うことで、渋滞の解消を支援する手法を提案しています。



サブ部での渋滞発生を車々間通信で解消する

分子構造を任意に制御可能な 多孔質高分子材料の 新たな合成方法を確立

医療や食品など、物質を抽出・浄化するフィルターに活用可能

永直文教授（応用化学科）は、原材料、温度、触媒などの組み合わせを変えることで分子構造を任意に制御可能な多孔質高分子材料を合成することに成功しました。

この多孔質高分子材料は、ジョイント分子とリンカー分子と言われる分子の組み合わせで網目構造をつくるのが特徴（ジョイント・リンカー型）。スポンジのようなイメージで、抽出・分離したい物質のサイズや用途に合わせてカスタマイズして穴の大きさや硬さなど物性を変えることができるため、特定の物質をとらえることができるといふものです。しかも簡便で短時間で合成でき、従来、合成に1時間ほどかかっていた時間が10分ほどでできあがります。

分離膜、フィルター、フィルムとして産業界で応用が可能で、有害物質の除去や水、土壌の浄化、空気清浄、食品／飲料用フィルター、



応用化学科
永直文教授

血液精製など幅広い分野での用途が想定できます。そのほかにも、電池材料や細胞培養用足場材料など、応用範囲も拡大可能です。



ジョイント分子(●)とこれをつなぐリンカー分子(―)によって網目構造を構成するイメージ



多孔質高分子材料の合成例。多くのパリエーションを持つ形状を任意につくることができる

構造物の損傷を完全非接触・ 非破壊で高精度に検知する システムを開発

従来よりも約100倍強いLamb波を衝撃波で生成

細矢直基教授（機械機能工学科）らの研究グループは、レーザー誘起プラズマ（Laser-induced plasma: LIP）による衝撃波を使用し、構造物の損傷を完全に非接触・非破壊で高精度に検知するシステムを開発しました。

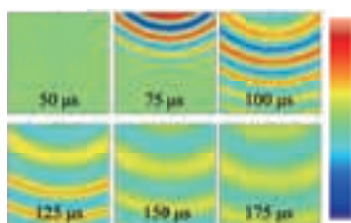
従来のレーザー熱弾性により生成されたLamb波で行う非破壊検査では、Lamb波が弱いため検知精度を高めるために計測における平均化回数を多くしていることから、短時間での広域検査は困難でした。また、レーザーアブレーション※（Laser ablation: LA）固体表面に高出力のレーザーをパルス照射すると高温高密度のプラズマブルームが形成される現象）によるLamb波生成手法は、従来よりも約100倍強い振幅のLamb波を発生させ、これまでの50分の1程度の時間で検査が可能となりましたが、検査対象にいく小さな痕ができる



機械機能工学科
細矢直基教授

という問題がありました。そこで、細矢教授ら研究グループは、高出力のパルスレーザーを空气中に照射してLIPを形成し、

それにより発生する衝撃波を用いることで、LAと同じ精度で、完全に非接触・非破壊で損傷を検知することに成功しました。将来的には、航空機のような大型構造物に対する広域損傷検知などへの実用化を目指します。



ジュラルミン平板にLIP衝撃波により生成されたLamb波が伝播する様子。

※本研究は北海道大学大学院工学研究院の橋原逸朗教授と宇宙航空研究開発機構（JAXA）の神田淳ハブマネージャとの共同研究であり、医学・科学技術関係を中心とする世界最大規模の出版社・Elsevier社の学術雑誌「International Journal of Mechanical Sciences」(10.1016/j.ijmesci.2018.03.023)で発表されました。

しげうら 卒業生の「今」

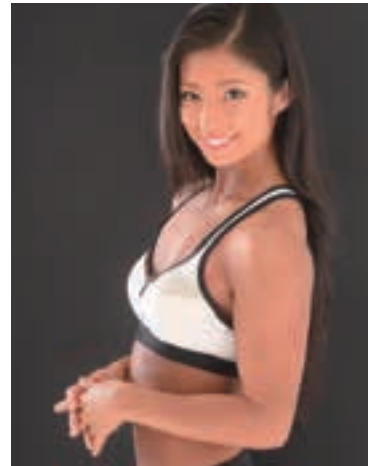
これまでで10万人を超える芝浦工業大学の卒業生。
現在、日本はもとより世界各地で活躍しています。
エンジニアはもちろん、さまざまな方面で活躍する卒業生を紹介します。

パーソナルトレーナーとして健康的なボディメイキングの提案を目指す

会社員経験後、芝浦工業大学に入学。化学実験、研究に明け暮れる毎日を送ったあと
現在はパーソナルトレーナーという異色の経歴を持つ田上舞子さん。最近ではテレビや雑誌など多くの
メディアに「まいティ」という愛称で“超人女子”として紹介されている田上さんの魅力に迫りました。

自分らしさを 探り続けた学生時代

研究職、システムエンジニア、機械設計、建築施工管理。芝浦工業大学出身者から連想される職業である。一方でパーソナルトレーナーは体育系大学やアスリート養成学校から輩出されるイメージがあるが、田上さんは理系出身のパーソナルトレーナー。もともとは化粧品関係に興味があり、研究開発に携わりたい思いがあった。ただ、化学漬けの日々を送っているうちに、細かい作業が性に合わないことに気づく。「大学時代は毎日実験とレポート作成の繰り返しで忙しい日々を送っていました。ただ、入学当初から研究職の道は自分に向いていないと思い始め、四年



たのうえ まいこ
田上 舞子さん

パーソナルトレーナー

2013年 応用化学科卒業
卒論テーマは水質環境汚染物質の検出方法。
華やかな見た目からは想像しづらい実験三昧の姿勢から、学生時代は「なぜ芝浦に？」と数え切れないほど聞かれたという。趣味は旅行と食

まいティからの アドバイス

食事がなによりも1番重要です。
ボディメイクは食事8割トレーニング2割。

痩せたいときはまず食事を見直しましょう！タンパク質が足りていない女性がとても多いです。お肉やお魚、毎食食べて欲しいです！

生るときも就職活動はせず、自分がやりたいことを見つけるまで時間を空けようと思いました」。卒業後は再び会社員として働き始めるが、受付担当という職業柄、身体を動かす時間が少なく体重の変化に苦しんだ。そのときリフレッシュのために度々海外を訪れたという。そしてダイエットを目的にニューヨークで運動を始めたのが、将来の職業に結びつくきっかけとなった。

転職は卒業後に訪れた ニューヨークでの経験

トレーニングの魅力に取り憑かれたのは、短期でニューヨークを訪れた時。アメリカでは朝のジョギングやジム通いが当たり前になっていることと、運

動が人々の生活の中に自然に馴染んでいることにとても驚き、運動に対する感覚が変わった。「日本ではまだ運動する意識が根付いていない。アメリカ人は自分がやりたいように運動し、他人の評価ではなく自分が理想とする体型を作っていることに、刺激を感じました」。最初は、1キロを走るのに必死だったという田上さん。その後、ランニングからハーフマラソンやフルマラソンに挑戦するようになりダイエットに成功。ただ自分の理想とする身体にはならず、さらに筋肉トレーニングを始めるようになる。昔から興味のあることにのめり込みやすいタイプであったため、早い段階で資格取得を試み、2年前にパーソナルトレーナーの資格を取得。今では主に都内フィットネス

MAIKO Tanoue



クラブでパーソナルトレーナーとして働いている。

●理系と筋肉の関係性

大学の専攻と現職業が結びつかないように思えるが、実は理系の考え方が今の仕事に活かしているそう。「トレーナーの資格を取る時に身体の構造を勉強するのですが、解剖学や生物科学などに親しみがあつたので抵抗なく理解

できました」。そのため、ネット上にあふれる情報に翻弄されがちな顧客に適切なアドバイスもできている。「ただ運動することを提案するのではなく、お客様自身も納得できる説明を論理的にできるトレーナーが求められています。理想の身体をきちんと聞き出し、何をどのくらい食べれば理想の身体に近づけるのか、身体の構造や筋肉の動きも含めて論理的に説明する場面で理系の考え方が生きています」。

学生時代に初代芝浦ミスキャンパス

2017年に初めてフィットネスビキニ選手権に出場し、3位入賞。初めての出場で限度が分からず、減量末期は体脂肪7%という極限状態に。大会当日も激しい嘔吐と腹痛で立っているのもやっとだったという。「苦しい経験をしましたけど、ここまで経験できた人、という説得力があるのでお客様からの信頼につながっています」と話す。7月には関東大会2位に!

に選ばれたが、その時から芸能界やモデルなどを目指そうという考えは一切なかったという。「トレーニングに出会うまでは食べる量を極端に減らすようなダイエットをしたこともありましたが、今は健康的な身体作りの必要性を感じています。お客様にもそれを伝えていきたいです。」と話す。

●これから

今でもほぼ毎日トレーニングに励み、トレーナーとしてお客様の補助が安全にできるよう身体作りを行っている。最近はSNSで質問を受けることが多く対面で話せない分、適切なアドバイスをがしにくいと感じているという。それを補うため、会員制のオンラインサロンを開設し、会員向けに情報発信する活動を軸にしていきたいそう。「会員たちと密に関わり、ボディメイキングに関する正しい知識を提供できる環境を作った上で、イベントやワークショップも実現したい」。一方で、フィットネスビキニの大会にも出場することで、自身の身体にもさらに磨きをかけたいとこれからの抱負も語る。

田上さんの生き方は、理系の知識や経験を活かして既存の枠にとらわれない生き方を示すロールモデルとなっており、今後のさらなる活躍が期待される。

SCHOOL LIFE

2009年 初代芝浦ミスキャンパスに。候補者が少なく、同じ学科で実行委員をしていた友人に勧められて出場した。最初は消極的だったものの、学科全体で応援してくれる雰囲気を感じて出場し、見事ミスキャンパスに輝いた。



TRAINING

「大会前も基本的にはトレーニング内容は同じですが、減量中は筋トレに加えて1時間~1時間半ほど有酸素運動が加わります。食事を減量食(鶏胸肉やサツマイモなど)に切り替え、ぎりぎりのエネルギーの中でトレーニングを行っているの、普段よりもすごくハードに感じます」

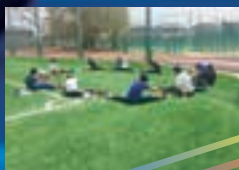




芝浦工業大学 創立100周年記念事業

「駅伝プロジェクト」始動

学業との両立を図りながら箱根駅伝出場を目指す取り組みがスタート



プロジェクト始動にあたって

芝浦工業大学陸上競技部駅伝ロックは、2012年の箱根駅伝予選会への初出場以来、6年目の2018年1月には、関東学生連合メンバーとして本学史上初となる箱根駅伝本戦出場を果たしました。

学生たちは、授業や研究の合間を縫って練習を重ね、少しずつ実力をつけてきました。地道な努力が実を結び、出場する選手を輩出できたことは、本学にとって大きな喜びであり、希望となりました。本学が、学業との両立を図りながら伝統ある箱根駅伝の本戦出場を目指すことは大きな挑戦です。志を掲げて高い目標を定め、挑戦

し続けることで、これを達成したい。そのための支援体制も整えていきます。

また理工系大学として、このプロジェクトを通じた研究テーマを掲げた取り組みを行い、科学的アプローチによるチャレンジも行っています。

芝浦工業大学は、学業とともに自らの夢を追いかける学生を応援していきます。そして2027年に迎える大学創立100周年に向けて、学生・教職員・卒業生・保護者が一つになり、この駅伝プロジェクトを推進していきます。

学長 村上 雅人



プロジェクト実施内容

プロジェクト第一弾として、2019年4月入学者より公募推薦入試をスタートします。その他にも科学的側面でのアプローチによる支援や、教職員・学生駅伝大会の開催など全学的な盛り上がりをつくっていく予定です。

公募推薦制度

高等学校において学業に精励するとともに、スポーツ活動に積極的に参加して優秀な成績を修めた生徒を募集し、学業との両立を図りながら箱根駅伝出場に向けてチャレンジする学生を公募推薦で募集します。

入学金免除、給付奨学金（最大月10万円）、学生寮の支援

芝浦工業大学

第22回大宮祭「VISIT!」開催
大宮でフェスティバル!?
過去最高の来場者数に



中庭の特設ステージ



多くの団体がにぎやかに呼び込みを行った



3,481人が訪れた



工作教室は毎年人気

5月20日、大宮キャンパスにて第22回大宮祭が開催されました。大宮祭は「地域との交流」をコンセプトとした学園祭であり、今年も多くの地域の子どもたちを含む家族連れが在学生と共に楽しむ姿が目立ちました。今年のテーマは「VISIT!」大宮でフェスティバル!?」。大学の略称である「SIT」を含み、沢山の方々に来場して楽しんでいただきたいという想いが込められています。晴天にも恵まれ、願い通り過去最高である3,481人の来場者が訪れました。

中庭の特設ステージや屋内ステージでは、ダンスパフォーマンスやジャグリング、音楽ライブなどが行われ、来場者を盛り上げました。21団体が出展した中庭の屋台企画にも多くの行列ができました。



大宮祭実行委員会
委員長
北島 佑樹さん
(環境システム学科3年)

第22回大宮祭のテーマ「VISIT!」には、多くの方々に来場していただき楽しい思い出を作ってもらいたい、という想いを込めました。当日は3,481人という、過去最高の来場者数を記録し、嬉しい限りです。今年度は大宮祭実行委員会の部員数が多くまとめるのが大変でしたが、全員の協力のおかげで、大宮祭が充実した学園祭になったと思います。来年度の大宮祭もぜひご期待ください!



教室いっぱいの鉄道研究会による展示



芝浦宇宙航空研究部の展示



VR体験を楽しむ

スラナリー工科大学(タイ)の 教職員70名と合同研修を実施

〜両大学の教職員が一体となった研修に〜

5月29日、海外協定校であるスラナリー工科大学(SUT・タイ)の Santi Maensiri 副学長ほか教職員70名が来校し、本学教職員と共にSD(Staff Development)研修を合同で行いました。一方的に本学の特色を説明する研修ではなく、本学教職員も参加し本学の活動や取り組みを合同で学ぶ形式をとりました。両大学の教職員が一体となって研修を行うことで、新たな海外協定校との関わり方を実現しています。



東雲運河でカフェ&クルーズを行う 『夏の船カフェ』を開催

〜水辺を活かしたまちづくりに寄与〜

6月23日〜24日、豊洲キャンパスがある豊洲地区の東雲運河の一部(通称:東電堀)で、カフェと運河クルーズを行うイベント「夏の船カフェ2018」を開催しました。本学は、豊洲地区運河ルネサンス協議会の事務局を務めており、学生と教職員が一体となって毎年本イベントの運営を行っています。1日目は雨のため途中で中止となりましたが、2日目は午後から天候にも恵まれ、地元団体の出店が並ぶキャンセルカフェ、毎年大人気の学生ガイド付き運河クルーズやスリル満点の水陸両用バスに総勢約5,000人が参加しました。



インド工科大学と異文化PBLを開催

〜「働き方改革」に対し、新たな発見や気づきを生み出すPBLに〜

芝浦工業大学が事務局を務めるGTC(グローバル)とPIIs(Project Indian Institute of Technologies)が主催する異文化PBL(Project Based Learning)が、7月7日に開催されました。PIIsは、インド工科大学(IIT)の3年生を2ヶ月間、日本で就業体験させるプログラムを提供しています。芝浦工業大学以外にも日本国内外の他大学学生や社会人が参加。「働き方改革」について解決策を検討しグループに分かれてプレゼンテーションを実施しました。日本における社会的問題に対し、異なる意見や考え方を受け入れ解決策を見いだす事で、新たな発見や気づきを生み出す意義あるPBLとなりました。



公開講座「東京2020大会に向けた輸送戦略」開催

オリンピック成功のカギとなる輸送戦略について参加者と共に議論

公開講座「東京2020大会に向けた輸送戦略」が7月7日に行われました。選手村やアリーナが整備される予定の湾岸エリアに豊洲キャンパスを持つ芝浦工業大学。講師である土木工学科の岩倉成志教授は、鉄道や車など各種交通計画・政策案を念頭において交通行動の分析と交通計画を専門に研究を行っています。今回の講演では、東京都ならびに東京メトロの担当者も交え、2年後に迫った東京オリンピック・パラリンピック競技大会の交通計画や都民に求められる理解・協力について参加者と共に考えました。



原田真宏教授の

JIA日本建築大賞受賞を祝う会を開催

「道の駅ましろ」で受賞、大勢の来場者で祝う

「道の駅ましろ」で日本建築家協会の2017年度JIA日本建築大賞に選ばれた原田真宏教授（建築学科）と原田麻魚氏（MOUNTAIN ARCHITECTS STUDIO）の受賞を祝う会が、7月10日に東京都品川区の寺田倉庫で開催されました。発起人には五十嵐久也理事長はじめ、本学関係者、建築家隈研吾氏などが名を連ね、大勢の来場者を迎えて盛大に行われました。

会では施主である大塚朋之益子町長や五十嵐久也理事長、大学時代の恩師である三井所清典名誉教授のほか、原田教授・麻魚氏ゆかりの方々による祝辞が贈られました。

原田教授・麻魚氏は「粘り強く、明るく取り組んでいくことが大切である」とあらためて認識しました。これからもさまざまな人たちの幸せをつくっていきたい」と来場者への謝辞が述べられ、盛況となった会を結びました。



香川大学との連携協力協定を締結

「うまげなかがわ感じてみまひ！」うごん県住みます学生プロジェクト

7月23日、香川大学と連携協定を締結、調印式を執り行いました。香川大学とは、文部科学省「地方と東京圏の大学生対流促進事業」に採択されたことをきっかけに協定を締結する運びとなったもので、「うまげなかがわ感じてみまひ！」うごん県住みます学生プロジェクトとして、芝浦工業大学の学生が香川県や地域について学び、地域について香川大学の学生と共に考えます。その第弾として、9月には、デザイン工部の学生を対象に、香川県に赴き「瀬戸内・香川を知る.e-learning科目の受講」「香川県の自治体や地域コミュニティとの連携による『地域インターシッピング』への参加」「香川大学生による地域貢献プロジェクトへの参加」などの活動を実施する予定です。



村上雅人学長(右)と寛善行香川大学学長(左)

芝浦工大附属中学高等学校

弓道部が東京都遠の大会団体、個人で活躍

3月28日に東京武道館で行われた第8回東京都中学校弓道遠の大会において、奈木野天啓さん、田中恒成さん、横地洗輝さん（全員中学3年）の3名が団体の部で優勝しました。

団体の部は、約60m先の的を1人4本×3名の計12本を射るルールとなっており、的を射た回数で順位が決定します。3名は普段から心がけている「練習は試合のように、試合は練習のように」という言葉の通り、平常心で試合に臨み、好成績を収めました。3名は、「今後



横地さん(左)、奈木野さん(中央)、田中さん(右)

チーム一丸となって全国優勝を目指して頑張りたい」と意気込みを語りました。この3名は2017年度から数多くの大会に参加しており、「本番で本来の力を出せるよう、練習だけでなく大会の経験を積んで精神的にも成長していきたい」とメンタルの強化にも意欲的に取り組んでいます。

個人の部でも日頃の成果を発揮し、田中さんが優勝、横地さんが準優勝しました。

また、田中さんは4月8日に行われた第28回東京都中学校弓道個人選手権大会でも優勝しており、今後のさらなる活躍が期待されます。



個人大会でも優勝した田中さん

トビタテ！留学JAPAN 「未来テクノロジー人材枠」に合格



文部科学省が海外留学促進を

目的に開始した支援制度「トビタテ！留学JAPAN」(※)の日本代表プログラム高校生コース「未来テクノロジー人材枠」に、田中雅人さん(高校2年生)が合格しました。第4期は過去最高となる応募総数2,099人のうち、535人が採用となる狭き門を突破しました。田中さんは、アメリカ・ボストンのカーリー大学に7月から約2週間留学し、型にはまらず自由に設計・製作を行うVEXロボティクスを中心に学びました。

合格した「未来テクノロジー人材枠」はロボティクスやAIなどのテクノロジー分野に関する留学をする特別枠であり、高校生では第4期が初めての募集となりました。選考では、自分で設計した留学プランの内容だけでなく、これらテ

クノロジーに関する専門性や実績を重視した評価が行われます。田中さんは、授業で行ったライントレーサーやスターリングエンジン製作の経験を活かし、先進的な技術開発拠点多くあるボストンで技術を磨き、帰国後は自分の経験をSNSなどで積極的に発信し、留学の良さをもっと日本人に知ってもらう活動を行いたいという計画をアピールしました。田中さんは、「明確な目標・計画性のあるプランを自ら考え、留学に対する熱意もアピールできたことが合格につながった。このような経験を積み重ね、海外で通用するグローバルなエンジニアになれるよう頑張りたい」と意気込みを語りました。

(※)文部科学省が2013年10月より始めた留学促進支援制度。意欲と能力ある全ての日本の若者が、海外留学に自ら一歩を踏み出す機会を醸成することを目的として開始。



芝浦工大柏中学高等学校

全国中学校Webコンテストで 経済産業大臣賞とプラチナ賞を受賞

第20回全国中学校Webコンテスト高校生部において、齋藤嶺旺さん、馬場純一郎さん、中野博文さん、浜中清貴さん（すべて高校1年生 ※受賞時）らが「物流の今と未来」というサイトを作成、物流の仕組みや抱えている問題とその解決法などを分かりやすく紹介し、経済産業大臣賞とプラチナ賞を受賞しました。



物流の今と未来 … <http://logistics-web.jp/>

中学生の部 プラチナ賞
学ぼう! 感染について
中学生の部 金賞
難民問題
中学生の部 銀賞
放物線と生活
高校生の部 金賞
コーヒーで世界を救う
高校生の部 銀賞
知っ得! IoT ハイスクール



「ネット通販はとても便利なものですが、それによって物流業界が人手不足などの問題で圧迫されています。そのことを知った僕達には、未来を担う中高生にも物流について知ってほしい、考えてほしいと考え、このサイトを作りました。サイトはマンガなどを交えて楽しみながら物流について基礎から学ぶことができるようになっていきます」と語りました。

また、今回の功績が評価され、7月20日の終業式時に、S-I-T賞が授与されました。

ノーベル物理学賞梶田教授による講演会

4月9日、日本・アジア青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプラン」の主催のもと、ニュートリノに質量があることを示すニュートリノ振動の発見で、2015年にノーベル賞を受賞した、梶田隆章 東京大学教授による講演会が開催されました。

この講演は、さくらサイエンスプランの取り組みの一環で柏高校生約170人と、アジア各国からの高校生約110人が参加し、講演および質疑はすべて英語で行わ



れました。司会進行は3年生と2年生が流暢な英語で務めました。講演に引き続き、アジアからの高校生との文化交流会があり、本校生徒と共に、扇子の絵付けの紹介をしました。扇子に桜の絵を描いたり、アジアの高校生の名前にあてた漢字を書くなど、各々が自由に絵付け体験をして、それをきっかけに会話が弾みました。

海外からの引率の先生方に対しては、茶道部の生徒が和服でお茶を振る舞い、大変喜ばれていました。



CONGRATULATIONS

学会受賞レポート

研究やその他の活動において顕著な活躍をした芝浦工大関係者を紹介します。

※学年・職位・指導教員は受賞時のものです。

Build Live Japan 2017
Building Smart 賞



大内 逸平さん、大橋 祐真さん、森田 康介さん
(建設工学専攻 2年)
北川 瑠未さん、小林 貢平さん、鷹勢 優輔さん
(建設工学専攻 1年)
外山 健汰さん、村田 次朗さん(環境システム学科 4年)

指導教員:澤田 英行 教授 (環境システム学科)

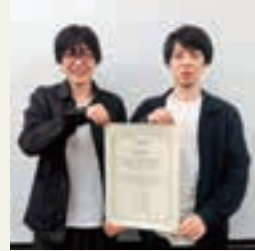
Build Live Japan 2017
Building Smart 大賞



石橋 忠司さん、梅田 歩昂さん、森 天文さん、
渡邊 圭悟さん(環境システム学科 4年)
齊藤 有生さん、宇田川 剛さん、大塚 健太郎さん、
鈴木 聖弥さん、飯塚 圭佑さん、森澤 昌典さん
(建設工学専攻修士 1年)

指導教員:澤田 英行 教授 (環境システム学科)

第6回大東建託賃貸住宅コンペ
指名大学部門 優秀賞



神崎 潤さん、磯 涼平さん、大久保 憲一さん、
北口 絵梨奈さん、紺野 雄輔さん、藤本 亮太さん、
森野 航平さん (建設工学専攻1年)

指導教員:原田 真宏 教授 (建築学科)

第12回関東工学教育協会
論文・論説賞



織田 佐由子さん(機能制御システム専攻 2年)
長谷川 浩志 教授 (機械制御システム学科)
山崎 敦子 教授 (共通学群)
井上 雅裕 教授 (電子情報システム学科)
間野 一則 教授 (電子情報システム学科)

第12回関東工学教育協会
論文・論説賞



井上 雅裕 教授 (電子情報システム学科)
長谷川 浩志 教授 (機械制御システム学科)
間野 一則 教授 (電子情報システム学科)
古川 修 特任教授 (理工学研究科)
山崎 敦子 教授 (共通学群)

Advanced Energy Materials Congress 2018
IAAM Young Scientist Medal Award



芹澤 愛 准教授 (材料工学科)
石崎 貴裕 教授 (材料工学科)
小池 健生さん (材料工学専攻1年)

PICK UP

サウジアラビアから芝浦工業大学に留学している大学院生5名が
成績優秀者としてサウジアラビア大使館から表彰

2015年に本学豊洲キャンパスにおいてサウジアラビア政府派遣留学生大学進学説明会が開催されて以来、毎年サウジアラビアから多くの留学生が本学に入学しています。そのなかでも大学院生5名が成績優秀者としてサウジアラビア大使館から表彰されたのは本学にとっても大変名誉なことであり、海外へ本学のブランド力を発信する上で大きな成果であるといえます。卒業後も本学で学んだ最先端技術を生かし、サウジアラビアと日本の橋渡しを担うグローバルエンジニアとして活躍することが期待されます。

※国費留学生として来日した留学生のうち、2017年後期において、学部生はGPA3.4以上、修士・博士はGPA3.55以上を取得した学生が対象となるものです。今回表彰された9名のうち、5名が芝浦工業大学の学生となり、大変名誉な受賞となりました。



KAHIL MUSTAFA JAMAL Sさん(国際理工学専攻 2年)
ALHARBI FAHAD ABDULKARIM Dさん(国際理工学専攻 2年)
ALHARBI ABRAR ABDULAH Dさん(国際理工学専攻 2年)
ATTAR GHAEER ABDULWASI Mさん(電気電子情報工学専攻2年)
ALHARBI FAHAD MOHAMMED Sさん(機械工学専攻 1年)

指導教員:上岡 英史 教授 (情報通信工学科)



日本建築工学会
学生研究奨励賞

曾我 裕希さん

建設工学専攻 1年

指導教員：濱崎 仁 教授 (建築学科)



画像情報教育振興協会
協会賞 (合格者数部門)

システム理工学部
電子情報システム学科

指導教員：高橋 正信 教授 (電子情報システム学科)



表面技術協会第137回講演大会
学術奨励講演賞

宮下 智弘さん

材料工学科 4年

指導教員：石崎 貴裕 教授 (材料工学科)



第23回JPIJS若手研究者のための
ポスターセッション 優秀ポスター賞

吉浦 詢子さん

応用化学科 4年

指導教員：野村 幹弘 教授 (応用化学科)



日本計算工学会
川井メダル

長谷川 浩志 教授

機械制御システム学科



MSC Software 2018 Users Conference
ポスターセッション 優秀賞

市丸 嵩浩さん

システム理工学専攻 2年

指導教員：長谷川 浩志 教授 (機械制御システム学科)



ヒューマンインターフェース学会
研究会賞

板東 真慶さん

電気電子情報工学専攻 1年

指導教員：米村 俊一 教授 (情報工学科)



情報処理学会第80回全国大会
学生奨励賞

南川 大樹さん

情報工学科 4年

指導教員：杉本 徹 教授 (情報工学科)

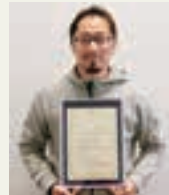


情報処理学会第80回全国大会
学生奨励賞

川島 高弘さん

電気電子情報工学 専攻 2年

指導教員：杉本 徹 教授 (情報工学科)



横断型基幹科学技術研究団体連合
第8回横幹連合コンファレンス 第6回木村賞

蘆澤 雄亮 助教

デザイン工学科



分離技術会年会2018
奨励賞 (リファインホールディングス賞)

鈴木 航平さん

応用化学専攻 1年

指導教員：野村 幹弘 教授 (応用化学科)



Society for Free Radical Research 2018
Young Investigator Award

加藤 優吾さん

システム理工学専攻 2年

指導教員：福井 浩二 教授 (生命科学科)

PICK UP

第5回 ICTES2018
Excellent Presentation Award

e-Learningシステムに受講者の知識レベルを把握させる手法を提案

既存の e-Learning システムは個人々が受講する学修システムであるにもかかわらず、その内容が受講者個人に最適化されていないという問題が存在します。Othmarさんはこの問題を解決するために、受講者の知識に応じたコンテンツ教材の選択および提供方法に関する研究を行っています。しかしながら、受講者が自分自身の知識レベルを正確に認識することは難しく、それを客観的に評価する方法が求められています。

Othmarさんは、e-Learning システム自体に受講者の知識レベルを把握させる手法を提案してきました。具体的には、マルチメディアコンテンツを利用したクイズ形式の検査を受講者に受けてもらい、解答時間と正解率を収集します。この時、脳波計測も同時に行い、科学的根拠をもとに客観的かつ定量的に受講者の知識レベルを評価する方法を明らかにしました。

本提案手法は先天的な聴覚障害者など、経験に基づく知識取得量が不明な受講者に対しても利用できる可能性があり、今後のさらなる研究成果が期待されています。



Othmar Othmar Mwambeさん
国際理工学専攻 2年

指導教員：上岡 英史 教授
(情報通信工学科)

学校法人芝浦工業大学は、2027年に創立100周年を迎えます。

本学のさらなる充実・発展のため、引き続き皆様の力強く温かいご支援をよろしくお願いいたします。

| | | | | |
|---|--|---|---|---|
| <p>寄付者ご芳名 2018.2.1～2.28</p> <p>【個人】</p> <p>大原 武光 様 坂本真之助 様 鈴見 健夫 様 立澤 清 様 手島 朋広 様 中山 昇年 様 山中 正弘 様 山本 豊秋 様</p> <p>【団体／法人】</p> <p>株式会社エスアイテック 様 公益財団法人セコム 科学技術振興財団 様 芝浦工業大学 柏中学高等学校PTA 様 昭和電機株式会社 様 椿本興業株式会社 様 富士通ネットワーク ソリューションズ 様</p> <p>寄付者ご芳名 2018.3.1～3.31</p> <p>【個人】</p> <p>石鍋 光則 様 遠藤 由理 様 大塚 政徳 様 岡島 洋治 様 片桐 成浩 様 金子 伸一 様 川越 進 様 北 慎太郎 様 古藤慎一郎 様 齋藤 浩二 様 斎藤 政美 様 白井 進一 様 鈴見 健夫 様</p> | <p>高橋 健一 様 高橋 延幸 様 高橋 佑弥 様 瀧澤 茂 様 田口 誠壽 様 竹本 清一 様 田中 朋和 様 田中 基光 様 近森 清 様 辻村 進 様 手島 朋広 様 中澤 岳 様 長沢 忠直 様 中村 吉宏 様 野口 一也 様 野口 智之 様 長谷川阿佐子 様 長谷川和孝 様 浜松 政則 様 林 誠 様 原野 広太 様 伴 昭彦 様 福原 稔之 様 福田 清明 様 藤井 隆之 様 古市 隆志 様 古屋 雄高 様 法木 弘光 様 巻淵 義雄 様 増本 昭 様 松井 聰 様 三井 正弘 様 南 明則 様 武藤 勲 様 村田 章人 様 森 正 様 森山 源嗣 様</p> | <p>安田 瑛 様 山崎 利幸 様 山本 秀樹 様 横尾 龍生 様 横溝 泰生 様 吉田 龍七 様 吉村 幸雄 様</p> <p>【団体／法人】</p> <p>MKエンジニアリング 株式会社 様 株式会社エフアイティー 様 株式会社長谷工 コーポレーション 様 公益財団法人日立財団 様 芝浦工業大学 柏中学高等学校PTA 様 芝浦工業大学 機械工学科同窓会 様 芝浦工業大学後援会 様 芝浦工業大学校友会 様 芝浦工業大学校友会 長野支部 様 芝浦工業大学附属 中学高等学校 父母の会 様 芝浦工業大学付属 中学高等学校 サッカー部 OB会 様 TIS株式会社 様 日本金属株式会社 様 東日本電信電話株式会社 様 三井化学東セロ株式会社 様</p> <p>寄付者ご芳名 2018.4.1～4.30</p> <p>【個人】</p> <p>浅野 昌宏 様 飯坂 重光 様 家本喜久雄 様 石井 敏男 様 市岡 真 様</p> | <p>大輪 一弘 様 奥ノ蘭隆志 様 金森 良樹 様 金田 正勝 様 河合 隆史 様 川上 孝一 様 川本 寛之 様 古宇田英夫 様 齋藤 照次 様 榊原 周造 様 杉田 匡 様 鈴見 健夫 様 攝待 卓 様 田中 朋和 様 千鳥 健一 様 手島 朋広 様 尾藤 広志 様 平岡 勝重 様 布施 弘光 様 堀之内 保 様 向江 力 様 本永 浩之 様 森 繁高 様 山本 浩 様 横山 健 様 渡辺 勝彦 様</p> <p>【団体／法人】</p> <p>あおみ建設株式会社 様 公益財団法人 精密測定技術振興財団 様 芝浦工業大学 柏中学高等学校PTA 様 芝浦工業大学 柏中学高等学校後援会 様 千代田ソイルテック 株式会社 様</p> | <p>寄付者ご芳名 2018.5.1～5.31</p> <p>【個人】</p> <p>飯田 竝彬 様 市岡 真 様 今江 澄仁 様 小川 達生 様 河原 康広 様 佐々木庸平 様 篠原 茂明 様 田中 朋和 様 千里久明彦 様 手島 朋広 様 中山登司男 様 野田 賢 様 鈴見 健夫 様</p> <p>【団体／法人】</p> <p>既存杭引技工法協会 様 株式会社ニチベイ 様 株式会社日本触媒 様 株式会社マルシン 様 公益財団法人 軽金属奨学会 様 三信建設工業株式会社 様 芝浦工業大学 柏中学高等学校PTA 様 芝浦工業大学校友会 様 芝浦工業大学付属 第一高等学校同窓会 様 東洋産業株式会社 様</p> |
|---|--|---|---|---|

2017年度 寄付累計額：413,221,960 円

創立100周年記念事業基金

- ・豊洲キャンパス第二校舎建設事業資金寄付
- ・スーパーグローバル化推進支援資金寄付
- ・その他課外活動支援等使途特定寄付

芝浦工業大学附属中学高等学校 豊洲新校舎開校記念基金

- ・教育環境整備サポート寄付
- ・グローバル人材育成サポート寄付
- ・教育研究・課外活動サポート寄付

芝浦工業大学柏中学高等学校 教育研究充実資金寄付

＊ご支援のお願い

寄付者ご芳名(敬称略) ご芳志に深く感謝申し上げます。(ご希望者のみ掲載、月ごとの50音順で表記しております)

寄付者ご芳名
2017.11.1～11.30

【個人】

秋山 力洋 様
井村 俊明 様
大谷 信郎 様
鈴見 健夫 様
國井 秀子 様
黒川 浩志 様
小林 淳 様
手島 朋広 様
外川 明 様
堀口 常雄 様
村上 雅人 様
山高 卓 様

【団体／法人】

一般財団法人 研友社 様
株式会社日本環境設計 様
株式会社マルシン 様
川田工業株式会社 様
公益財団法人天田財団 様
公益財団法人
カシオ科学振興財団 様
公益財団法人マツダ財団 様
芝浦工業大学
柏中学高等学校PTA 様
芝浦工業大学校友会 様
横浜ライト工業株式会社 様

寄付者ご芳名
2017.12.1～12.31

特別名誉賛助員称号記贈呈

黒川 浩志 様
櫻井 光隆 様
平野 雅昭 様
廣瀬 義征 様
名誉賛助員称号記贈呈
久保田敬子 様

佐多 斉 様
佐藤みちよ 様
田中 信 様
中江 崇 様
羽山 富衛 様
村上 雅人 様

【個人】

相田 英二 様
青木 眞 様
新井 景一 様
新井 勝 様
猪狩 仁宏 様
池田 敬一 様
板倉 徳子 様
市岡 真 様
伊藤 敏幸 様
猪田 政彦 様
今江 澄仁 様
宇佐美邦夫 様
宇野 栄司 様
大内 勉 様
大野 洋 様
大場 正孝 様
大森 正巳 様
岡村 信一 様
岡本 卓三 様
小口 泰平 様
小澤 公彦 様
落合 和雄 様
勝俣 輪行 様
加納 博子 様
河又 弘壽 様
木船 雅昭 様
久納 謙吾 様
久村 尊子 様
黒澤 峻也 様

小木田寛治 様
小平和一朗 様
小林 久之 様
媚山 武史 様
齋藤 照次 様
酒井 悠希 様
佐藤 伸晃 様
佐藤真由美 様
椎名 博俊 様
澁木 昭一 様
渋谷 義博 様
嶋田 紘一 様
島村 光正 様
杉山 照雄 様
鈴木 俊 様
鈴木 正雄 様
鈴見 健夫 様
勢又 和 様
園田 哲也 様
其原 繁広 様
高岡 英機 様
高橋 達也 様
高山 功 様
瀧澤 茂 様
竹内 功 様
武田 充芳 様
津久井沙伎 様
手島 朋広 様
土居 悦郎 様
友谷 涉 様
中村 嘉恵 様
中村清三郎 様
中村 吉宏 様
成山 謙一 様
橋本 保夫 様
蓮見 昌幸 様
幡野 明彦 様

東 克則 様
平田 良夫 様
平山 賢一 様
福本 金夫 様
藤井 隆之 様
三井所清典 様
宮本 正裕 様
百山 忠 様
森山 源嗣 様
山口 達史 様
山崎 治平 様
山田 繁樹 様
山元 啓充 様
渡邊 豊 様

【団体／法人】

あおみ建設株式会社 様
敏永工業株式会社 様
芝浦工業大学後援会 様
芝浦工業大学
柏中学高等学校PTA 様
芝浦工業大学
柏中学高等学校後援会 様
日本金属株式会社 様

寄付者ご芳名
2018.1.1～1.31

【個人】

足立格一郎 様
有山 光悦 様
飯坂 重光 様
今村 茂樹 様
大橋 弘明 様
大柳 英之 様
梶原 孝史 様
片桐 成浩 様
川井 洋次 様
菊地 誠 様

木村 均 様
申田 逸人 様
小林陽一郎 様
佐藤 健一 様
佐藤 博夫 様
佐鳥 文夫 様
椎名 一嘉 様
鈴木 康譚 様
鈴木 憲政 様
鈴木 茂生 様
鈴見 健夫 様
高瀬 茂 様
田中 朋和 様
田中 博音 様
辻口 松男 様
手島 朋広 様
中村 光一 様
葉山 邦彦 様
姫野 俊 様
平島美代子 様
藤田 徹 様
山崎 晃弘 様
山本 昌弘 様

【団体／法人】

株式会社長谷工
コーポレーション 様
公益財団法人 タカタ財団 様
日本システムハウス
株式会社 様
芝浦工業大学
柏中学高等学校PTA 様
芝浦工業大学校友会 様
長谷川体育施設株式会社
関東支店 様

本学Webサイトよりお申込みできます。

<http://www.shibaura-it.ac.jp/>

より「寄付」で検索

財務部 財務課

〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14
Eメール:bokin@ow.shibaura-it.ac.jp
電話:(03)6722-2930
FAX:(03)6722-2931



芝浦工業大學

SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

Established 1927

Tokyo